

要 約

試験の表題

アントラセンの底質添加によるユスリカ毒性試験

試験条件

(1) 被 験 物 質	アントラセン
(2) 試 験 生 物	セスジユスリカ (<i>Chironomus yoshimatsui</i>)
(3) 暴 露 期 間	28日間
(4) 試 験 濃 度	1000、500、250、130及び63 mg/kg（公比2.0）の5濃度区（暴露開始時における底質中の被験物質測定濃度として990、470、240、 <u>130</u> 及び58 mg/kg）、助剤対照区及び対照区 下線の濃度区は被験物質測定結果が得られなかったため、設定濃度で示す。
(5) 連 数	4連／試験区
(6) 試 験 生 物 数	80個体／試験区（20個体／試験容器）
(7) 収 容 密 度	2.84 cm ² ／個体（1個体当たりの底面積）
(8) 試 験 用 水	脱塩素水道水（減水分の補充：蒸留水）
(9) 試 験 方 式	止水式
(10) 試 験 系 の 調 製	供試試料を吸着させた人工底質と試験用水を試験容器に入れた後、7日間通気を実施して試験系を平衡化させた。
(11) 水 温	23.6～24.0℃
(12) 照 明	室内灯（照度676～991 lx）、周期 16時間明／8時間暗
(13) 給 餌	微細化したテトラミンベビー5 gを、蒸留水500 mLに添加後攪拌したものを餌料として与えた。
(14) エアレーション	生物暴露1日後より3～4 bubbles/secになるように実施
(15) 被験物質の分析	HPLC法（暴露開始時及び暴露終了時）

試験結果

(1) 28-day LOEC	$>990 \text{ mg/kg}$
(2) 28-day NOEC	$\geq 990 \text{ mg/kg}$
(3) 28-day EC ₅₀	$>990 \text{ mg/kg}$

[(1)、(2)、(3)は、暴露開始時における底質中の被験物質測定濃度に基づく値]